

担当教員 森 明子	Instructor Name MORI Akiko			
開講期 前学期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DRSc03		単位 / Credit 2		
科目名称： ヨーロッパ文化研究演習 I		Subject: Seminar I (European Studies)		
<p>授業概要：</p> <p>現代人類学とソシアルなるものの意味</p> <p>An Anthropology of the Contemporary and the Meaning of the Social</p> <p>・開講形態 / 「講義」、「演習」</p> <p>現代人類学と社会的なものの意味について演習を行う。現代世界の人類学研究が、社会をいかにとらえ、何を明らかにしようとするのか、これまでの人類学の蓄積をふまえて考える。人類学の接近法として、民族誌研究に基礎をおいて議論する。テキストとして、グローバル化や移民の文脈における社会保障を焦点とした研究をとりあげる。</p>				
<p>教育目標・目的：</p> <p>民族誌研究を批判的に読解し、自己の研究を相対化する視点を獲得する。現代世界を対象とする民族誌研究が、何を焦点化しているか理解する。現代世界の民族誌研究は、主題を配置する文脈を、どのように設定し説明しているか理解する。</p>				
<p>授業計画：</p> <p>第1回 家族・親族論と現代人類学</p> <p>第2回 ケアと社会保障</p> <p>第3回～第13回 テキストの各章に即して発表と議論</p> <p>第14回 テキストに即した総合的討論</p> <p>第15回 現代世界の社会的なもの人類学</p> <p>日程は、毎週火曜日 13:30～15:00</p>				
<p>成績評価：</p> <p>準備学習度 (30%)、議論への参加度 (30%)、発言の内容 (40% : 問題設定 15%、問題背景説明 15%、自己の意見説明 10%)</p>				
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館 4階演習室</p>				
<p>使用言語：</p> <p>日本語</p>				
<p>教科書・参考書：</p> <p>Social Security in Religious Networks: Anthropological Perspectives on New Risks and Ambivalences edited by Carolin Leutloff-Grandits, Anja Peleikis and Tatjana Thelen, New York : Berghahn Books , 2009</p>				
<p>備考：日本語</p> <p>地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可</p>				